

第13回 広域ごみ・汚泥処理施設候補地選定委員会まとめ（要点筆記）

- 《開催日》 平成20年8月7日（木）午後1時30分～午後5時00分
《場所》 豊岡市立図書館 2階 視聴覚室
《出席者》 委員：寺嶋均、森住明弘、八村智明、吉田勲、定元之雄、狩野昇、
日下部昌男、山田政五郎、井上政信、中田雄久、
久保田八千代、
足田仁司 （敬称略）
組合：事務局長他 6名 合計19名

関係市町 垣江課長、宮代所長、松井課長、坂本課長

《内容》 ... 委員会次第

1 開会

2 報告

(1) 候補地選定委員会報告書について

3 協議

(1) 選定区に対応について

候補地決定後の対応経過等

（対応経過、陳情書等について）

今後の対応方策について

内容については、広域ごみ・汚泥処理施設候補地選定委員会設置要綱第6条第3項の規定により非公開とする。

選定区に対応について【要点筆記】

今後の対応方策について

- 陳情書に書かれている問題は、委員会でも論議し克服してきたことである。
- 感情的な問題で難しい。
- こういった問題は、時間が経つほど難しくなる。
- 危険だという内容の文書が出ると、その内容が間違っているとしても危険だと思ってしまう。
- 私たち選定委員会が、区長や役員を支えていくシステム作りをするのが、ここの役割だ
と思う。行政ではできないことである。
- 委員会の決定について誤解がある。
- 委員会として、このままではいけないと思うので、反対者と話し合いをしてはどうか。
- 公的な場で話し合いを求めていく必要がある。
- 心配事の問題でダイオキシンだとかあるので、説明できる方が出るべきである。
- 委員会として決定したことに責任があるので、対応していかなければならない。
- 他（公的）から圧力がかかって決定したことではないし、最適地だと確信して決定した
ことだと説明していかなければならない。